

会員各位

岐阜県病院薬剤師会
会長 伊藤 善規

第 265 回岐阜県病院薬剤師会研修会開催のご案内

拝啓

時下、先生におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。
さて、下記のとおり研修会を開催しますので、奮ってご参加頂きますようご案内致します。

敬具

記

日時：平成 23 年 12 月 10 日（土）午後 2 時 30 分より
場所：長良川国際会議場 4 階 大会議室
岐阜市長良福光 2695 - 2 Tel (058) 296 - 1200

【内容】 総合司会 国保 坂下病院 薬剤部 西尾 晃

- 1、 会長挨拶
- 2、 会員報告

1. ぎふ清流国体へ向けてのドーピング防止について

多治見市民病院 薬剤部 櫻井賢治郎 先生
(病診支部推薦スポーツファーマシスト)

2. 東日本大震災における災害派遣報告

岐阜赤十字病院 薬剤部 久松 大介 先生

3. 液体抗がん剤調製における調製監査法の構築

長良医療センター 薬剤科 中島 誠 先生

参加費：薬剤師会会員 500 円 非会員 2000 円

* 当研修会は岐阜県病院薬剤師会研修制度及び日本薬剤師研修センター研修制度に該当する研修会です。

主催 岐阜県病院薬剤師会

ぎふ清流国体へ向けてのドーピング防止について

社会医療法人厚生会 多治見市民病院 薬剤部 櫻井賢治郎
(病診支部推薦スポーツファーマシスト)

ドーピングは、公正さを基本とするスポーツ競技において重大なルール違反であるというだけでなく、選手の健康自体にも影響を及ぼす可能性のある危険な行為である。また、医薬品の適正使用という観点からもドーピングは見過ごせるものではありません。医薬品の供給を担う薬剤師として、ドーピング防止活動への貢献は非常に重要であるといえます。その一方で、ドーピング目的で禁止物質を使用するつもりがなくても、市販の風邪薬などを服用しただけで、ドーピング陽性になることがあります。たとえば、興奮薬として禁止されるメチルエフェドリンを含む風邪薬は数多く販売されており、スポーツドクター等の支援が十分受けられない選手の中には、自分でこのような製品を購入し、ドーピングを意図せずに使用してしまうことが、あるかもしれません。このような、いわゆる「うっかりドーピング」をもっとも有効に防止することができるのは薬剤師であります。

日本薬剤師会のドーピング防止活動は平成15年の静岡国体から開始している。過去の国体においては、地元薬剤師会と薬剤師の先生方のご尽力の結果、高い評価を頂き、ドーピング防止活動における薬剤師の存在感は確実に増してきている。

(財)日本アンチ・ドーピング機構が立ち上げ、日本薬剤師会も協力する「公認スポーツファーマシスト認定制度」が平成22年4月にスタートされ、本制度に対しては、スポーツ界および広く一般からも大きな期待が寄せられているところです。

来年(平成24年)ぎふ清流国体が開催されます。(冬季国体1月28日～1月31日、2月14日～2月17日・本大会9月29日～10月9日)岐阜県薬剤師会として国体開催にむけてドーピング防止の対応をしていきます。もし、国体関係者・選手の皆様よりご相談をうけられた場合は、「薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック」を参考にしてください。わからない事がある場合は遠慮なく

(社)岐阜県薬剤師会ぎふ薬事情報センターまたはスポーツファーマシストにご相談下さるよう、ご理解とご協力をお願いします。

東日本大震災における災害派遣報告

岐阜赤十字病院 薬剤部 久松 大介

まずは、東日本大震災により被害を受けた方々に心よりお見舞い申し上げます。

災害救護活動は日本赤十字社の活動の一つであり、各病院には救護班が何班か登録されています。いつ災害が起こっても救護活動が行えるように、毎年救護訓練等も行っています。

平成 23 年 3 月 11 日に起きた東日本大震災においても、各都道府県から救護班が出動しています。岐阜県からは当院と高山赤十字病院の救護班が、災害当日から 6 月にかけて各 8 班出動しました。

今回私は災害当日の夜に岐阜を出発。3 月 12 日は盛岡市、13、14 日は陸前高田市で救護活動をして、15 日に岐阜に帰ってきました。

今回は地震の被害より津波の被害が大きく、普段訓練している災害初期のトリアージ等よりも、津波で薬が全て流された人などの対応が多くありました。そのような現場で薬剤師として出来たこと、出来なかったことを私が行った第 1 班の活動を中心に報告します。

液体抗がん剤調製における調製監査法の構築

中島誠^{1,2}, 後藤拓也¹, 野村美枝¹, 柴田有希子¹, 熊谷隆浩¹, 三島信行¹, 杉山正²

長良医療センター薬剤科¹, 岐阜薬科大学実践社会薬学研究室²

【目的】抗がん剤の無菌調製では、最終製剤の監査として調製に使用した薬液の残液量の確認が推奨されている。残液量の確認は目視で行うのが一般的である。今回、目視による監査の正確性を検討した。さらに、調製量を簡便かつ正確に監査する重量監査法を構築するとともに、監査精度と監査に要する時間について検討を行ったので報告する。

【方法】目視による監査の正確性は、9種類の形状の異なる空バイアルに、それぞれ量の異なる注射用水を充填したサンプルを作成し、薬剤師8人の目視による推測量と実充填量との比較にて評価した。重量監査法は、まず、Excel上で薬品名、処方量を入力し、比重を用いて計算した調製前後における容器の重量差の理論値、および±5%の許容範囲を印刷したワークシートを作成する。調製時には、調製前の全容器を天秤に載せてゼロ点合わせをする。秤取後、秤取した薬液を輸液に注入する前に再度全容器を天秤に載せ、マイナス表示される秤取量がワークシートの許容範囲内であれば適合と判断し、秤取した薬液を輸液に注入するものである。重量監査法の精度は、カルボプラチンをモデルに意図的に誤差を生じさせて調製したものに対する監査の適否にて評価した。所要時間は、10mLの注射用水を充填したバイアルから5mL、あるいは5mLの注射用水を充填したアンプルから2.5mLを秤取り輸液に注入する手技に要する時間を、重量監査実施の有無による比較にて評価した。

【結果】目視による計測は、実充填量に対して $22.8 \pm 18.7\%$ (mean \pm S.D.) の誤差が認められた。バイアルの形状、充填量、薬剤師の経験年数によらず、目視による計測には大きな誤差が認められた。重量監査法では、実測値が+4%以上、-8%以下の場合に確実に誤差の検出が可能であった。バイアルあるいはアンプルに充填した注射用水の調製および監査に要する時間は、バイアル製剤が 119.8 ± 7.5 秒/ 128.8 ± 9.7 秒(監査未実施/実施)、アンプル製剤が 131.5 ± 5.2 秒/ 139.5 秒 ± 3.3 秒であり、監査の実施により所要時間は有意に延長した($p < 0.05$, $p < 0.01$, Student's t-test)。

【考察】目視による計測は精度が低いため、調製に誤りがあった場合、その過誤を検出することが困難であると考えられた。一方、重量による監査は、調製時の過誤を確実に検出できることが判明した。重量監査の実施により所要時間が約8%延長したが、重量監査の実施によるメリットの方が大きいと考え、長良医療センターでは実務で重量監査を実施している。重量による監査システムはすでに発売されているが、特殊な装置とソフトを必要とし極めて高価である。今回の重量監査法は簡便かつ正確であり、導入コストも安価であることから、多施設において導入可能な方法であると考えられる。

学術講演会のご案内

謹啓

時下、先生におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、このたび下記のとおり学術講演会を開催させていただき運びとなりました。
ご多忙中誠に恐縮に存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようご案内申し上げます。

謹白

記

日時：平成23年12月10日（土）午後4時00分より

場所：長良川国際会議場 4階 大会議室

岐阜市長良福光 2695-2 TEL (058) 296—1200

■製品紹介

『4価HPVワクチン ガーダシルについて』

MSD株式会社

■特別講演

座長 木沢記念病院 薬剤部長 加藤 武司 先生

『4価HPVワクチン導入によるHPV関連疾患の疾病負担軽減』

名古屋大学大学院医学系研究科 産婦人科

准教授 柴田 清住 先生

共催 岐阜県病院薬剤師会
MSD株式会社

※ 講演会終了後、グループディスカッションを計画しております。

4価HPVワクチン導入によるHPV関連疾患の疾病負担軽減

名古屋大学大学院医学系研究科 産婦人科
准教授 柴田 清住

2000年代に入り20歳～30歳代の上皮内がんを含む子宮頸癌罹患率の増加が顕著になり、子宮頸癌若年化は少子化にもつながる重要な問題である。子宮頸癌若年化の背景には、初交年齢の低下と20代女性の頸癌検診受診率が10%前後と極めて低いことが挙げられる。子宮頸癌の原因は高リスク型HPVであり、我が国の子宮頸癌の罹患率・死亡率低下のためには検診受診率の向上とHPVワクチンの普及が不可欠である。HPVワクチンが2009年12月より本邦でも接種可能となり、2価ワクチンの接種が行われてきた。そして2011年7月にと4価ワクチンが日本でも承認された。4価ワクチンは高リスク型HPVのHPV16、HPV18に加えて尖圭コンジローマの原因である低リスク型HPVのHPV6、HPV11に対する予防効果を持つ。本講演では2価ワクチンと4価ワクチンの比較についても言及したい。